

1 学年だより

令和3年10月6日(水)

夢の宅配便

 1 年学年主任
水野 喜代治

「合唱発表会の練習が明日から始まります。」

10月20日(水)に予定されている合唱発表会に向けて、明日から各クラスで歌の練習に取り組みます。小学校と異なり、中学校では、それぞれの合唱のパートリーダー、学習発表会実行委員、指揮者、伴奏者を中心に練習計画を立てて、取り組みます。帰りの学活が延長されて30分間の練習時間が保障されます。この時間をどのように有効に使うかをパートリーダーと学習発表会実行委員が計画します。各クラスのリーダーの計画でみんなが協力して頑張れるかが大切です。学年目標の「楽しみながら笑顔で協力する黄学年」に近づけなければなりません。合唱の練習が一週間続きますが、この協力するということを学年の一人ひとりが大切にして、各クラスの歌を完成させてほしいと思います。

学習発表会実行委員とパートリーダーの紹介

1 組	学習発表会実行委員	齊藤さん・山岸さん・酒井さん
	パートリーダー	入江さん・片瀬さん・山岸さん・斎藤さん・川口さん 露木さん
	指揮者・伴奏者	川口さん(指揮)・鈴木さん(伴奏)
2 組	学習発表会実行委員	高久さん・松本さん・梶さん
	パートリーダー	高久さん・馬場さん・小西さん・染野さん・河合さん 森本さん
	指揮者・伴奏者	河合さん(指揮)・坂本さん(伴奏)
3 組	学習発表会実行委員	土屋さん・北村さん・尾崎さん
	パートリーダー	大川さん・谷津さん・星さん・朝倉さん・服部さん 近藤さん
	指揮者・伴奏者	馬場さん(指揮)・松野さん(伴奏)

●学習発表会実行委員、パートリーダーの方々頑張ってください！

連載小説 第二編

「キヨたんの小さな小さなダイヤの指輪」

第3話…花マル

夏休みに突入した。朝日が差し込んで、目が覚めた。目覚まし時計を無意識に止めたらしく枕元でひっくり返っている。「危ない。ラジオ体操の前に庭を掃かないと！」慌てて飛び起きて庭の掃除に取り掛かる。竹箒^{たけぼうし}をねかしてコンパスのように半円をえがいて掃くと、地面に掃いた跡が模様のように残る。順番に順番に掃き残しがないように掃除していく。裏庭の自転車置き場から表庭まで約40分ぐらいかけて進めていく。掃き終わると、庭全体に箒の跡が残って、そこを歩くと靴の足跡がついた。後ろ向きに歩いて、足跡を箒で消しながら家に入った。玄関をあがると台所で味噌汁を作っている母のところに駆け込んだ。

「お母ちゃん、掃除が終わったよ。竹箒をコンパスのように回して掃いたんだよ。地面の模様がきれいだよ。」とネギをきざんでいる母に話した。「頑張ったね！お母ちゃん助かるよ。」と頭をなでてくれた。きざんだネギを鍋に入れて手際よく味噌汁を作る。ご飯の支度が終わると、台所に貼ってあるカレンダーに赤ペンで花マルをつけてくれた。「お掃除をしたら、その日に花マルをつけるからね。」と母が言った。「お母ちゃん、学校では先生から花マルとかもらったことがないから、花マルが嬉しいよ。花マルは最高だね！」と私はニコニコして答えた。学校で女の子がノート一杯に大きな花マルをもらってるのを見ると羨ましくなって、自分で先生が付けた×を花マルに書き直していたくらいだった。カレンダーの数字のところを母が赤ペンでクルクルと器用に書いてかわいいお花にしてくれた。夏休みの42日間をすべて頑張ってカレンダーを花マルで満開にしようと思った。カレンダーを嬉しくて眺めていると兄の修ちゃんが横から「いつまで、続くかな？」と横槍を入れてきた。「テストも×ばかりの喜代治だから、このカレンダーも明日からは×が続くのかな？×だらけのカレンダーが可愛そう。掃除をしなかった時は、この兄が大きな×をつけてあげるからね！」と私の顔を覗き込むようにして言ってきた。「ふざけるな！全部カレンダーを花マルにするんだよ！クソ兄貴がでる幕はないんだよ！お前には絶対にウルトラマシンは使わせないからな、覚えておけ！」と兄にくいついた。「ウルトラマシンが本当に買えたら、喜代治のことを喜代治様と呼んであげるよ。」と笑い出した。「修次、ポストから新聞を持ってきて。」と母が兄に頼んだ。兄が新聞をポストからとってきて、私に何か言おうとしてきたから、私は無視して、スタンプカードを首にぶら下げてラジオ体操に行くために玄関を出た。きれいに箒の跡がついている庭を見て、改めて充実感が込み上げてきた。その時にふと、ポストから新聞を取りに行った兄の足跡が庭についていないことに気が付いた。不思議に思ってよく見たら、足跡をつけないように庭の隅を兄が歩いてくれたことが分かった。「修ちゃん、ありがとう。」と心につぶやいて、私は公民館に走っていった。 つづく